

世界の大切な水

一箕中 一年 レディングトン 紅愛美

私は、半年前、アメリカから日本に引っ越して来ました。日本で初めて生活する中で、たくさんの日本の日本とアメリカとの大きな違いに気が付きました。その中でも、特に驚ろいた事がありません。それは、水に関する事です。私が住んでいたアメリカと日本の水の環境を比べて改めて、これからどう水をより良く使えるかを考えてみたいと思います。

2

まず、私が住んでいたのは、アメリカ西部に位置するユタ州です。ユタ州は、とても乾燥した砂漠気候です。そのため、雨や雪の降る量は、とても少ないです。年間降水量の平均は、四百七十二ミリしかありません。アメリカでは、艾生のある場所が多いため、スプリングラードで水やりをしています。そのため、毎回、大量の水を使います。ユタ州では、水が限られているため、決められた曜日だけに、艾生に水やりをします。ですが、この数年、

特にユタ州の降水量が少ないため、州内で節
 水するため、芝生が青くなくて黄色でも良く
 なってしまいました。隣の州のネバダ州では、ユ
 タ州より水の量が少なく、一ヶ月に使う量が
 決まっています。一家庭で決まった量を越える
 と、罰金が取られる事もあるそうです。この
 ように、砂漠気候に住む人々は、たくさんの
 エ夫をし、生活の中で節水を心がけて生活し
 ています。

一方、日本は、一年中、雨が降り、梅雨の

時期もあり、海に囲まれ、水がたくさん身近
 にあると思います。私の住む福島県の年間降
 水量の平均は、約千四百ミリです。これは、
 ユタ州の約三倍の量です。私は、まだ日本で
 行われていている節水のための行いを知りませ
 んが、日本は水に恵まれていたりと思いきす。私
 は、日本に来て、ユタ州にいた時ほどは、水
 や節水について気にしなくなっていました。ま
 たが、世界の水は、限られているので、それ
 ではよくないと思いきす。

私たちは、生活の中で身近に水道水を使っ
 ています。お風呂やトイレ、洗たく、手洗い、
 料理、飲み水、水道水がなければ生活ができ
 ません。水道の水を一分間、流しっぱなしに
 するだけで約十二リットル位の水が流れます。
 世界中に約七十八億人がいて、皆、水がない
 と生きてゆけません。日本人一人当たりの一
 日の水使用量は平均二百十四リットルで、世
 界平均の約二倍の量を使っているそうです。
 また、世界で一番清潔な水を利用できない国

は、アフリカにあるエリトリアです。人口の
 十九パーセントしか自分の家の近くで清潔な
 水を利用する事ができないそうです。近くに
 水がない人々は、遠くまで水をくみに行きま
 す。私たちが住む日本では、蛇口をひねれば
 きれいな水が好きなのでてきます。アジア
 では、日本とアラブ首長国連邦のみが、水道
 水をもそのまま飲む事ができます。アメリカも
 水道水は、そのまま飲めません。これらの事
 を見ても、色々な面で日本は、本当に恵まれ

ている事を実感しました。

私は、今回、アメリカと日本、そして世界の国の水の環境を見る事で、それぞれの国で様々な水の問題がある事を知る事ができました。日本のような水に恵まれている国に住んでいると、きれいな水が自由に使える事がいつもの間に当たり前前のようになっていてしまいいす。そのため、どこに住んでいても使える水は、限られている、誰も水を使えるわけでは

7

8

はない事を忘れずに、私たちは、毎日生活するべきだと思います。例えば、歯をみがく時や料理や食器洗い、手洗いの時など、こまめに水を止めたり、無駄に使わないなど、節水のたために、一人一人が少しだけでも心がけるだけですが、だれでも、だれも変わると思っています。人間は、水がないと生きてゆけないので、自分だけが節水を心がけるより、みんなが意識し行動にうつしてほしいと思います。